



人文知応援フォーラム



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

第6回 人文知応援大会

大学とは何か

学問の専門化、生成AIの革新が進む中、いま何故リベラルアーツなのか

基調講演



吉見 俊哉 YOSHIMI Shunya

國學院大学観光まちづくり学部教授、東京大学名誉教授

社会学者。1957年、東京生まれ。上演論的アプローチから都市論、メディア論を展開、日本のカルチュラル・スタディーズで中心的な役割を果たしてきた。長く東京大学で教え、大学院情報学環長、大学総合研究センター長、教育企画室長、同大学副学長、東京大学新聞社理事長、東京大学出版会理事長、日本マス・コミュニケーション学会会長、デジタルアーカイブ学会会長、東京文化資源会議会長などを歴任。主な著書に、『大学とは何か』(岩波新書)、『大学という理念』(東京大学出版会)、『大学は何処へ 未来への設計』(岩波新書)、『自己との対話——社会学者、じぶんのAIと戦う』(集英社新書)等、多数。

パネリスト



川上 量生 NOBUO Kawakami

株式会社ドワンゴ顧問

1968年生。大阪府出身。京都大学工学部卒業。1997年株式会社ドワンゴ設立。通信ゲーム、着メロ、動画サービス、教育などの各種事業を立ち上げる。株式会社ドワンゴ顧問、株式会社KADOKAWA取締役、学校法人角川ドワンゴ学園理事。著書に『教育ZEN 問答N 高をつくった僕らが大学を始める理由』(中央公論新社)『コンテンツの秘密ほくがジブリで考えたこと』(NHK出版)など多数。



板東 久美子 BANDO Kumiko

日本赤十字社常任理事、学校法人津田塾大学理事

1977年に文部省に入省し、秋田県副知事、内閣府男女共同参画局長、文部科学省生涯学習政策局長、高等教育局長、文部科学審議官、消費者庁長官、日本司法支援センター(法テラス)理事長等を歴任。特に大学行政の経験は長く、現在も学校法人津田塾大学理事を務めるなど、国公私立大学に幅広く関係。



日比谷 潤子 HIBIYA Junko

国際基督教大学名誉教授

ペンシルベニア大学博士課程修了。専門分野は社会言語学。国際基督教大学教学改革本部長として6学科に分かれて入学する制度から2年次の終わりに自身の専門を選択するシステム(メジャー制度)への移行を担当し、2012年から2020年まで同大学長を務めた。日本学術会議副会長(国際活動担当)、日本ユネスコ国内委員会会長。



野林 厚志 NOBAYASHI Atsushi

国立民族学博物館教授

専門は人類学、民族考古学、物質文化論。主要な研究テーマは台湾原住民族のエスニシティと歴史、食の文明論。台湾に関する人文学資料のデジタルアーカイブ構築や国内外の博物館における展示会も手がける。近刊に『パレオアジア新文化の形成：考古学・文化人類学からのアプローチ』(西秋良宏・野林厚志編)新泉社。

総司会



渡辺 美代子 MIYOKO O. Watanabe

日本大学常務理事、特定非営利活動法人ウッドデッキ代表理事

東芝総合研究所にて半導体研究開発を担当、理学博士。カナダダラハウジー大学ポスドク、英国パーミンガム大学研究員、東芝研究開発センター技術管理部門長、東芝イノベーション推進本部経営変革統括責任者、科学技術振興機構副理事を経て、2022年10月より現職。その他、内閣府STEM Girls Ambassador、日本学術会議第24期副会長。人文知応援フォーラム理事。

定員	会場参加	200名(予定)
	オンライン配信	300名
会場	一橋講堂 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2	

要事前
申込

2 | SAT
14

13:30-17:00

2026

大会趣旨

社会は経済競争の激化に加え、科学とりわけ自然科学の専門知見の急速な深まりと、生成 AI の目覚ましい進化の中で、「人間とは何か」、「社会はどうあるべきか」について腰を据えて考える機会をもたぬまま目の事象の処理に追われがちです。いまこそ中長期的視野に立ってこれらの基本問題を考え、次世代とともに明るい未来を構築する努力を強化しなければなりません。そこで本大会では、如何にして人類の英知の集積である「人文知 / リベラルアーツ」の価値を教育に反映させ、その結果を社会に実装することで、新たな社会の流れが人類の将来にとって最大の成果を生むような環境を整えるべきかにつき真剣な議論を重ねる場を提供致します。

第 6 回人文知応援大会実行委員長 近藤 誠一
(人文知応援フォーラム代表理事・理事長、元文化庁長官)

オンライン 配信あり

※要事前申込
※手話通訳あり

プログラム

総合司会 渡辺美代子

日本大学常務理事
特定非営利活動法人ウッドデッキ代表理事

13:30 開会挨拶

大原謙一郎
木部 暢子

人文知応援フォーラム理事・会長
人間文化研究機構機構長

13:40-14:25 基調講演

「AI 時代の大学教育」

吉見 俊哉

國學院大学観光まちづくり学部教授
東京大学名誉教授

14:25 休憩

14:50-16:50 パネル討論

「大学とは何か」

——学問の専門化、生成 AI の革新が進む中、
いま何故リベラルアーツなのか——

ファシリテーター 吉見 俊哉

國學院大学観光まちづくり学部教授
東京大学名誉教授

パネリスト 川上 量生
板東久美子
日比谷潤子
野林 厚志

株式会社ダウンゴ顧問
日本赤十字社常任理事、学校法人津田塾大学理事
国際基督教大学名誉教授
国立民族学博物館教授

16:50 閉会挨拶

近藤 誠一

人文知応援フォーラム代表理事・理事長

大会宣言採択

懇親会のご案内

大会終了後に懇親会
(17:30-19:30) を開催します。

人文知応援大会に
お申し込みいただいた方に、
人文知応援フォーラムから
ご案内を差し上げます。

ウェブサイト

<https://www.nihu.jp/ja/event/2025/evt2025-002455.html>

お問合せ先

第 6 回人文知応援大会事務局

TEL 03-3528-9841

MAIL nihu-sympo@sympo.net

アクセス

一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内
東京メトロ半蔵門線・都営三田線、都営新宿線
神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩 4 分
東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4 分

